

2022年4月14日

丸紅エネルギー株式会社  
新規事業デザイン部

日本初の高純度バイオディーゼル燃料を軽油に30%混合した「B30燃料」を  
阿蘇くまもと空港内の日本航空株式会社の車両に用いて実験運用を開始する件

当社が加盟している高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会は2022年4月1日より、阿蘇くまもと空港にて、日本航空株式会社の空港内作業車両（トーイングトラクター\*1）を用い、日本初となる高純度バイオディーゼル燃料を30%混合した「B30燃料」の使用実証実験を開始しました。本取組みは、世界最大\*2となる濃度30%でバイオディーゼル燃料を軽油に混合し、実証実験として使用するものです。

本試験の最大のポイントは、現在、品確法\*3で認められている5%混合のB5燃料の使用に比べ、大幅な二酸化炭素排出量の削減\*4が見込めることです。B30燃料を使用することで、企業や行政機関の二酸化炭素排出を削減し、環境対策およびSDGsを後押しできます。本試験実施にあたり、経済産業省より試験利用の「大臣認定」を2022年3月14日付で取得済みです。

B30燃料は「軽油特定加工（=バイオ燃料と軽油との混合）許可」を取得済の東光石油株式会社が、熊本いいくに県民発電所株式会社で精製された高純度バイオディーゼル燃料を30%混合して製造・配達し、熊本空港給油施設株式会社が日本航空株式会社に供給します。当社は本試験実施開始に向けてのサポートを過日より実施、本試験開始後は東光石油への軽油供給を実施致します。

当社は本試験実施を通じ、今後はバイオ燃料の普及及び商用化を視野に活動を進めて参ります。

本記事に関するお問い合わせ先

丸紅エネルギー株式会社 新規事業デザイン部 新規事業デザイン課 今野

TEL：03-6261-8760

## 注釈

- \*1 空港制限区域内にて航空貨物やお客さまの手荷物の運送用コンテナを牽引する車両。



- \*2 脂肪酸メチルエステル (Fatty Acid Methyl Ester) を混合した軽油での利用。30%混合はインドネシアでは既に行われており、並ぶこととなります。
- \*3 「揮発油等の品質の確保等に関する法律」の通称です。
- \*4 脂肪酸メチルエステル(FAME)の原料である植物が成長過程で二酸化炭素を吸収していることから、カーボンオフセットの概念により二酸化炭素排出量をゼロカウントすることが出来ます。

### ※ 高純度バイオディーゼル燃料 (リーゼル/ReESEL) とは

静電気による超精密浄化処理により、バイオディーゼル燃料の成分である脂肪酸メチルエステル(FAME)の精製純度を 99.9%という極限まで高純度・高品質化したバイオ燃料で、リーゼル (ReESEL) とは高純度バイオディーゼル燃料の総称です。

### ※高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会とは

「高純度バイオディーゼル燃料」を製造する事業者と、その燃料を活用する事業者の協調のもとに、「高純度バイオディーゼル燃料」の利用拡大と発展を図る会。

団体名	一般社団法人 高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会		
設立	2019年6月		
代表者	代表理事	星子 桜文	
	副会長	近江 則明	
	事務局長	藪内 利和	
顧問	篠原 亮太	熊本県立大学名誉教授 (熊本県環境センター館長)	
	木下 英二	鹿児島大学 工学部 教授 (工学部学部長)	
住所	大阪府守口市日光町 3-4 〒570-0092		
電話	06-6998-2275	FAX	050-3588-0174



# 日本初

高純度バイオディーゼルB30 燃料を  
使用した空港実証試験

